

中小企業の持続的発展に向けて！！

3月26日、多様な業種の若手経営者の皆様をはじめ、金融機関や支援機関の方々など約100名に御参加いただき、京都銀行本店にて「京都市中小企業未来力会議」を開催！ビジネスアイデア等について、気持ちのこもった発表が行われ、会場は熱気に包まれましたっ！！

～① 改革実践グループからのプレゼン～

自主的な検討を進めてきた改革実践グループから、「中小企業は『京都経済の屋台骨を支えているだけでなく、市民の暮らしや文化、安心安全、地域コミュニティを支える存在』であり、自らのことを『規模の大小を基準とした中小企業ではなく、地域に根ざし、地域と共に飛躍する**地域企業**』と呼ぶこととしたい。」と決意が述べられ、以下のとおり提案されました！



産業界・市民・行政が一体となって取り組む【「地域企業」の持続的発展に向けた実践提案】

発表者：芳村 敦（未来力会議世話人・京都青年中央会監事）

・多様な働きがいで担い手を育み続ける京都へ〈京都ならではの働き方・担い手育成〉

★ 産業界：自社の魅力発信、多様な働き方の実現

職種や業務内容だけでは表せない地域企業の魅力。それぞれの立場で自社の魅力を再認識し、多様な働きがいを実現させていきましょう。

★ 市民：地域に目を向け、未来のビジョンの具体化

多様な担い手の力が、街の発展の原動力。自分が暮らす街を支える身近な企業の仕事に目を向け、その街を大切にすチカラを育み、地域の一員として活躍するライフプランを描いてみましょう。

★ 行政：京都ならではの働き方改革と一体となった担い手育成への支援

京都ならではの多様な働きがいを実現させ、地域企業に新しい担い手を迎えやすい環境づくりを。

・先人の知恵と技術を繋ぎ続ける京都へ〈伝統産業の活性化〉

★ 産業界：伝産品の積極的な活用

知恵と技術の継承は随より始めよ。地域企業は生活に根ざした地元の産品を愛し、あらゆるシーンで積極的に京都の品々の活用に努めましょう。

★ 市民：生活の中で和の文化を嗜む

暮らしの中に息づく文化を再認識。良いものを直しながら長く使う先人の知恵や暮らしの美学を大切に、四季折々の暮らしの中で和の文化を嗜みましょう。

★ 行政：伝統産業と担い手の円滑なマッチング、販路開拓への支援

地域企業が京都の技術継承と後継者育成に取り組めるよう、新たな担い手探しと、販路開拓に向けた支援を。

・地域で地域を支え続ける京都へ〈地域経済の活性化〉

★ 産業界：企業間連携の強化で中小企業の力を結集

地域企業の強みはネットワーク。企業間連携によって京都のひと・もの・ことの魅力を結集し、互いに発信することで地域経済を活性化させましょう。

★ 市民：地場のものを購入し、京都を活性化

地場のものを買うことで、地域経済を活性化。日々の暮らしの中で街や地域企業の魅力を知り、人に伝え、地域の活力を高めましょう。

★ 行政：商売や創業がしやすい環境づくり

地域企業を増やすために、地域企業が自助努力の中で新たな商売にチャレンジできる場の提供など、創業しやすい環境づくりを。

・文化を活かし魅力を引き出し続ける京都へ〈観光産業の活性化〉

★ 産業界：多様な事業者の連携による京都の魅力発信

多様な産業と密接に関わりあう観光産業。京都の案内役として、積極的に異業種とも連携し、京都の文化や地場産品などの奥深い魅力を発信していきましょう。

★ 市民：おもてなしの心で京都の文化やマナーを伝える

京都市市民憲章のおもてなしの心を再認識。市民も旅行者も気持ち良く過ごせるよう、京都の良さや文化・マナーを幅広く伝えていきましょう。

★ 行政：受入環境整備支援とマナー啓発強化、京都の魅力発信支援

マナーも文化の一つとして旅行者に学んでもらうための啓発強化とともに、事業者の受入環境整備や旅館など京都の魅力発信への支援を。

・自然環境とともに生き続ける京都へ〈林業の活性化〉

★ 産業界：市内産木材の活用

地域企業から新たな需要を創出。地域企業が市内産木材を活用し、市民に発信することで、新たな木材需要をつくり、京都の森林の価値を循環させましょう。

★ 市民：木の温もりの再認識

私たちの暮らしを支え続ける森の恵みを次世代へ。京都の自然を暮らしの中で感じ、木に触れ、木の温もりを再認識してみましょう。

★ 行政：他産業との連携のきっかけづくり

市内産木材の新たな需要創出と魅力発信を支援するため、他産業との連携モデルの提示など活用方法の検討を。

【「地域企業」の持続的発展に向けた実践提案】は市HPでも公開しています。是非ご覧下さい！

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000235208.html>)

～② アイデア発案者からの最終プレゼン～

当初20件あったアイデアの内8件のビジネスアイデアについて今年度の最終発表！また、「共感したアイデア」や「実現してほしいと感じたアイデア」、「投資してみたいアイデア」に対し、参加者による仮想の通貨を用いた仮想投資を実施。通貨にはコメント欄を設け、共感の集まった上位3つのアイデア及び共感コメントの共有を行いました！

【地域・観光客・店舗・京なかにとって“四方よし”の京都・観光プラットフォーム】

発案者：京なかGOZAN 桂田 佳代子

(背景) 外国人を中心とする観光客が増加している反面、一部の観光スポットに集中し混雑が発生。市民生活への影響や観光消費の地域差などが生じている現状を踏まえ、同事業を実施することで、課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) 関係事業者と連携し簡単に使える情報のパッケージ化を図り「京都の観光おもてなしプラットフォーム」を構築。地域・観光客・店舗・京なかGOZANにとって、“四方よし”の観光事業を進めていく。

- (共感コメント) ・訪問客に合わせた紹介ができる点。
・課金システム。ビジネスモデルが構築されている。
・最新のテクノロジーを取り入れている。

共感2位



【良い会社で働きたい若者と、 良い会社を経営している経営者が会う“場”の創出】

発案者：シスポート(株) 米田 明

(背景) 若年者の雇用が思うようにできない中小企業が多い中、新卒で就職した人が3年以内に退職する割合が3割にもなる現状を踏まえ、同事業を実施することで、課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) 若者と経営者がわくわくするような、体験型企業経営実践ゲーム『バトルクレイン』を用いたイベントを開催。中小企業に興味をもってくれる若者が増やし、中小企業の担い手確保に寄与していく。

- (共感コメント) ・出会いの場として有効。
・ビジネスの経営感覚をゲームで体験できるのは面白い。
・ゲームで楽しく企業と若者が出会える点。



【～ビジネスの最前线に発酵食を注入する♪～ 「健康経営コンサルティング事業」】

発案者：発酵食堂カモシカ 関 恵

(背景) 仕事でハイパフォーマンスを維持するためには、毎日の食生活が重要であるが、忙しいビジネスパーソンに食生活が重要視されていない現状を踏まえ、同事業を実施することで、課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) 健康経営に問題意識を持っている企業や前向きに取り組んでいる企業と、①「健康意識調査」、②発酵食ワークショップ、③社員食堂のメニュー化、④発酵定期便を実施。連携し取り組み、企業の健康経営を進めていく。

- (共感コメント) ・経営者も社員も健康第一。食生活で健康に出来ると思った。
・食の大切さ。子供向けに考えていただきたいです。
・従業員数の多い企業を軒並み営業することができれば大変伸びる。

共感1位



【京都式好循環型農業】

発案者：(株)中嶋農園 中嶋 直己

(背景) 農業を取り巻く環境として、「農家は高く売りたい」・「企業は安く仕入れたい」状況があり、就農人口がなかなか増えない現状を踏まえ、同事業を実施することで、課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) 「価格」ではなく、「地産地消」「医食同源」「持続可能性」という観点から、『販売・物流の仕組み』を作る循環型農業に取り組む。持続可能な地域づくりの第一歩とし、京都の農業で雇用を増やしていく。

- (共感コメント) ・食料品の販売・流通と生ごみ回収堆肥化を同一会社で運営。
・京都の食を支えることで成り立つ農業者を増やしたい。
・一次産業の活性化につながる。



【～Mobile - Cell (MoC) ×House Core (HoC)～ 「動く個室」と「地域」を繋ぐ多拠点化・移住支援事業】

発案者：(株)MicroNations 宮内 孝輔

(背景) 今後、人口減少が進み、地域の空き家も増えていくことが予想される現状を踏まえ、同事業を実施することで、課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) キャンピングカーと違う概念を持った、「動く個室」である Mobile - cell を開発。居住と観光の境を無くし、テクノロジーを活かした個人の多拠点化を推進し、地域の活性化に向けて、地域の関係人口を増やしていく。

- (共感コメント)・「動く個室」と「地域」をつなぐ多拠点化。
・キャンピングカーと違うところは地域に依存して生活するところ。
・発想のやわらかさ、未来の住居の姿、シェアのあり方



【「セルフリノベーション・インストラクター」育成プロジェクト】

発案者：京都移住計画 田村 篤史

(背景) 空き家・遊休不動産の利活用や、地域の担い手である起業家・移住者からの声を多数聞いている現状を踏まえ、同事業を実施することで課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) (自分で自宅等の改修を行う) セルフリノベーションをサポートする「素人以上・職人未満」のインストラクターを主婦・学生を中心に育成。初期費用を抑えたお店づくりを支える仕組みをつくり、空き家等の遊休不動産の活用及び多様な働き方を生み出していく。

- (共感コメント)・「手間が愛着になる」。この言葉がすごく思いますし、より多くの方にこの考え方を伝え、広げたいです。
・セルフリノベーションという考え方を知らなかったので、共感。
・(自分の店舗を) 改装をしてもらいたい。



【「このマチが続くための不動産の使い方」プロジェクト】

発案者：(株)コミュニティ・ラボ 田中 和彦

(背景) ①空き家の活用に困っている所有者②発表活動の場に困っているアーティスト③高齢化等に困っている地域住民の方が多数いる現状を踏まえ、同事業を実施することで課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) 自社所有の町家を、創作活動／発表活動の場として解放。事例を基に、地域住民に共感される不動産の利用方法を提案し、地域に開かれた空き家の活用方法を模索していく。

- (共感コメント)・空き家の利用イメージを創ることが必要！
・単純に飲食店や旅館としての利活用でなく、アートやミーティングスペースとして活用し地域住民と共存している点。
・アーティストの発表の場は求められると思います。



共感3位

【「つくる・つかう・つながる老舗京もの体験」 ～京都宿泊施設連携富裕層向け体験コンテンツ～】

発案者：(株)コミュースタイル 田中 健一

(背景) 工房で行われている伝統産業品の制作体験は、それ自体に価値があるものにも関わらず、非常に安価な価格で行われている現状を踏まえ、同事業を実施することで課題解決につながるのではないかと考えた。

(概要) 単なる体験だけで終わるのではなく、出来上がった物を「つかう」というシーンも用意し他との差別化。また、「つかう」シーンで地元地域の人たちとの交流が生み出していく。

- (共感コメント)・「つくる・つかう・つながる」のコンセプトが素晴らしい。
・若手の職人が希望を持てるような仕事にしていきたいです。
・体験料が安すぎるのは、私も以前から気になっていました。



今後、京都市中小企業未来力創出支援事業補助金を活用し、各ビジネスアイデアの事業化に向けて支援してまいります！

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000224020.html>)

～③ 市長・顧問からの総括・アドバイス～



門川 大作 京都市長

ビジネスアイデアと連携できる市の施策もある。京都の未来のために、英知を結集し共に力を尽くしてまいりたい。



安藤 源行 京都府中小企業団体中央会 副会長

中小企業が元気にならないと京都の未来はない。ビジネスアイデアの事業化に向けた研鑽を、引き続きお願いする。

～④ 未来力会議のアイデアや意見を活かした平成 30 年度振興策の概要～

事務局から、参加者の皆様の御意見や改革実践グループからの提案など、現場の「声」を活かした平成 30 年度の本市振興策を報告しました！

会議でのご意見、改革実践グループからの提案	本市振興策
(会議でのご意見) ・担い手確保と働き方改革は一体的な問題。 ・京都が行う働き方改革は「働きがい」や「やりがい」などの視点からの改革を行うべき。 ・自社の特徴を見つめ直し、地域に中小企業の魅力発信をすることが大事。 (行政への提案) 京都ならではの働き方改革と一体となった担い手育成への支援	京の企業働き方改革総実践プロジェクト 京都中小企業担い手確保・定着支援事業 (既存事業充実)
(会議でのご意見) ・技術継承のため、伝統産業の作業工程の切分けやデータベース化が必要。 ・障害者雇用は雇用できる伝統産業事業者をどうやって見つけられるかがポイント。 ・組合や業種を超えたプラットフォームが必要。 (行政への提案) 伝統産業と担い手の円滑なマッチング、販路開拓への支援	京都市伝福連携担い手育成支援事業 「京都×パリ」京ものアート市場開拓支援事業
(会議でのご意見) ・気軽にチャレンジできる商売の場を作ることが行政に期待するところ。 ・経営においては人のネットワーク作りが最重要。 ・地場のもや京都の本物を地域のお店で買うことも大事。京都を理解することに繋がる。 ・起業家が集まってビジネスマッチングできる場が必要。 (行政への提案) 商売や創業がしやすい環境づくり	京の商人（あきんど）育成塾 地域プラットフォーム事業 (既存事業継続)
(会議でのご意見) ・長期滞在する外国人に来てほしい。そのためには、受入環境整備の支援が必要。 ・マナーも京都の文化として、きちんと伝える必要がある。 ・旅館が年間で安定的に稼働できる仕掛けや行事が必要。 (行政への提案) 受入環境整備支援とマナー啓発強化、旅館等の魅力発信支援	インバウンド需要獲得強化・マナー啓発事業 旅館をはじめとする宿泊施設の経営強化・魅力発信支援 MANGA ナショナルセンター（仮称）誘致推進事業
(会議でのご意見) ・子どもや若者に広めることが大事。 ・木とふれあう、木のぬくもりを感じることで再認識することが大事。そのためのイベントも必要。 ・市内産木材の普及のために、市域内で経済を成り立たせることも大事。 (行政への提案) 他産業との連携のきっかけづくり	マンガ・アニメ・映画を活用した市内産木材普及モデル事業

(本市振興策の概要は、 <http://www.city.kyoto.lg.jp/gyoza/page/0000227727.html> をご覧ください)

<お知らせ>

未来力会議の最新状況や、アイデアの進ちょく状況などを facebook にて発信しています。ぜひ、「いいね！」や「シェア」をお願いします。(<https://ja-jp.facebook.com/kyotoshichushokigyo/>)

<アンケートにお寄せいただいたご意見・ご感想>

- ・全体のプレゼンテーション力が素晴らしい。
- ・中小企業の異業種連携としてこんなに様々な事業が提案できることに驚いた。
- ・昨年度より大幅にバージョンアップしました。(企画運営の) リリースのコーディネートもすごい。
- ・各プロジェクトのその後、どうなったかを3箇月・半年などの経過を知りたい。
- ・今日プレゼンしなかったチーム、グループは次年度、再チャレンジしてほしい。
- ・もっともっと斬新な夢のあるアイデアがあればなあ。